

令和5年12月26日
生涯学習課

区指定有形文化財「旧安藤家住宅」主屋の入場見学中止について

1 主旨

区立次大夫堀公園民家園内の区指定有形文化財「旧安藤家住宅」主屋の鴨居落下（ズレ）の原因調査において、一部の柱が長期荷重で座屈しており今後折損する可能性があり、建物内への立ち入りを制限するなどの対策が必要であると、調査途中ではあるが委託業者より速報として報告があった。

そのため、来園者の安全を優先し、建物内への入場見学を中止したので報告する。

【用語解説】

長期荷重：固定荷重（建物の自重）と積載荷重（家財や人など）のこと

座 屈：柱の上から荷重をかけた時に、柱が途中で折れ曲がる（たわむ）こと

折 損：折れて破損すること

2 建物内への入場見学の再開時期

12月20日より中止している来園者の建物内への入場見学については、令和6年3月下旬提出予定の上記調査の最終報告書の内容も踏まえ、令和6年度以降に耐震診断や補修・補強工事等を検討・実施のうえ、建物の安全性が確認できたのちに再開する。

3 周知方法

区ホームページ掲載及び園内にポスターを掲示

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年度 耐震診断及び補修・補強工事等に向けた設計

令和7年度 補修・補強工事